

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	日高市役所		代表者名	関口秀昭	
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	0429892111	
担当者役職	主事補	担当者氏名	加藤さやか	連絡先E-mail	
住所	3501292 埼玉県日高市大字南平沢1020番地				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	3日目については、本市のDX推進におけるムーンショットの策定及びバックキャストの検討を成果目標とし、強み弱みの見える化、前回（1日目）の課題抽出を継承したムーンショット及びバックキャスト案検討のためのグループワークを中心に講義を行っていただいた。他自治体の事例なども交え、その場の状況やグループワークの進捗に合わせた指導や多岐に渡る助言をいただき、大変収穫のある研修となった。DX推進基本方針を元とした推進計画の策定に資する案検討し、さらに今後のDX推進に繋がる意識を共有することができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年7月26日	講演(実地)	有	令和5年6月30日	757
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月29日	講演（実地）	9時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	390
3-2. 派遣場所	会場名	日高市役所	最寄駅	高麗川駅	
	所在地	日高市大字南平沢1020番地	最寄駅からの交通手段	徒歩20分	

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	---------------------------	---

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	一般職員（情報化推進員）	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	一昨年度より機運醸成のためのDX研修を実施しているが、本市における職員の意識は研修止まりとなっているのが現状。また情報化推進員（情報化推進担当者）の情報交換や意見抽出をする場がなく、現状の課題把握ができないことが問題点。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	今回の講義やグループワークを通して情報化推進員（情報化推進担当者）のICTリテラシーを高めると同時に、下半期にBPRを実施するにあたり、各課に配置した情報化推進員（情報化推進担当者）にはDX推進の中核を担い、DXを取り入れていく意識の醸成及び定着、ムーンショットの策定を成果目標とする。具体的方法としては、アイデアや知見を共有し、検討することで、DX推進基本計画策定の元となるムーンショットを策定する。併せて、ムーンショット達成のためのバックキャストも検討する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	<講義> 前回の振り返り 日高市をDX体質に改善するためのムーンショットとバックキャストの実践 <ワークショップ> ムーンショットの策定とバックキャストの検討	
支援を受け改善又は解決された内容	・情報化推進員（情報化推進担当者）が組織の枠を超えて情報交換や討議ができた。 ・ムーンショット策定のプロセスの中で、各自が均等に課題を共有し、改善に向けた検討ができた	

(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーンショット策定のプロセスの中で、各々が抱える課題を共有し、改善に向けた検討ができた。</li> <li>・各グループがそれぞれのテーマに基づいたムーンショットを検討し、今後のDX推進計画策定のための案を得ることができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ムーンショット策定ワークショップにおいて、基盤となる材料をそろえることができたが、DX推進基本計画の策定はこれから下期にかけて取り組む事項となるので具体的な成果物はない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付のアンケート結果参照。 95%がDXに対する意識が高まった・やや高まったと回答。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



